

永遠の命

(英語 eternal life ギリシャ語 ζωή αἰώνιος ゴーエー アイウオーニオス)

新約聖書に 43 回も出現する言葉で、場面により幅があり、かつ深い意味を持っています。神学的には種々論じられていますが、あえて説明すれば、世俗的な意味での生命を意味せず、命の源である神の御子キリストを信じる者に恵みとして与えられるキリストにある霊的な命、永遠に続き、滅びることのない命を意味します。

それゆえ、キリストに依り頼んだ人々は「新生」し、霊の誕生日を持ったと言われます。クリスチャンは肉体の誕生日と霊の誕生日と言う二つの誕生日を持つこととなります。

以下、このみ言葉の意味を浮き彫りするいくつかの箇所を、新共同訳聖書からご紹介させていただきます。

注:「ヨハ」はヨハネによる福音書、「ガラ」は「ガラテヤの信徒への手紙」、「テトス」は「テトスへの手紙」、「一ヨハ」は「ヨハネの手紙一」のそれぞれの略号です。

ヨハ 3:15 それは、信じる者が皆、人の子によって**永遠の命**を得るためである。

ヨハ 3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、**永遠の命**を得るためである。

ヨハ 3:36 御子を信じる人は**永遠の命**を得ているが、御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまる。

ヨハ 4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、**永遠の命**に至る水がわき出る。

ヨハ 5:24 はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、**永遠の命**を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。

ヨハ 6:40 わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆**永遠の命**を得ることで

あり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。

ヨハ 17:3 **永遠の命**とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。

ガラ 6:8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から**永遠の命**を刈り取ります。

テトス 3:7 こうしてわたしたちは、キリストの恵みによって義とされ、希望どおり**永遠の命**を受け継ぐ者とされたのです。

一ヨハ 5:11 その証しとは、神が**永遠の命**をわたしたちに与えられたこと、そして、この命が御子の内にあるということです。

一ヨハ 5:20 わたしたちは知っています。神の子が来て、真実な方を知る力を与えてくださいました。わたしたちは真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内にいるのです。この方こそ、真実の神、**永遠の命**です。

(参照文献)

新改訳聖書(注解・索引 チェーン式引照付) いのちのことば社

Wikipedia : [「永遠のいのち」](#) 最終更新 2013年6月16日 (日)

以上